

**第 11 回**  
**消化管ポリポースス研究会**  
**学術集会**

プログラム

令和 7 年 1 月 26 日

日本消化器病学会関連研究会  
消化管ポリポースス研究会


## 御挨拶

第 11 回消化管ポリポーシス研究会 当番世話人  
宮城県立こども病院 消化器科  
角田 文彦

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。


このたび、第 11 回消化管ポリポーシス研究会の当番世話人を拝命いたしました、宮城県立こども病院 消化器科 角田文彦と申します。このような機会を与えて下さった代表幹事の矢野智則先生および関係各位に厚く御礼申し上げます。

本研究会では消化管ポリポーシスに関する様々な側面での発表が活発に行われており、今回は別の側面として内視鏡診断・治療に焦点を当て、テーマを「消化管ポリポーシス 診断・治療の難渋例」とさせていただきますところ、興味深い 9 演題をご登録いただきました。特別講演では高山哲治先生(徳島大学 消化器内科教授)に Cowden 病について、ご講演を賜ります。皆様の活発なご討論をお願い申し上げますとともに、実りある研究会になりますことを祈念しております。どうぞよろしく願い申し上げます。



日本消化器病学会 関連研究会  
**第 11 回消化管ポリポーシス研究会**

日 時： 2025 年 1 月 26 日(日)13:00～15:30  
会 場： ライトキューブ宇都宮 4 階 小会議室  
開催形式： ハイブリッド方式(現地・Web 開催)  
当番世話人： 角田文彦(宮城県立こども病院 消化器科)



❖プログラム❖

13:00～13:05 開会の挨拶

代表幹事 矢野智則(自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門)

13:05～14:05 特別講演

「Cowden 症候群/PTEN 過誤腫症候群の最新研究状況」

司会：中山佳子(信州大学医学部 保健学科)

演者：高山哲治(徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学)

14:05～14:10 休憩

14:10～15:22 シンポジウム

**テーマ**

**消化管ポリポーシス 診断・治療の難渋例**

司会：岡本耕一(徳島大学病院 消化器内科)

角田文彦(宮城県立こども病院 消化器科)

S-1 大腸に p53 過剰発現を伴う dysplasia を合併した若年性ポリポーシス症候群例の経過報告

○倉沢伸吾<sup>1)</sup>、渡邊 駿<sup>1)</sup>、鵜飼聡士<sup>1)</sup>、古屋絢子<sup>1)</sup>、佐渡智光<sup>1)</sup>、加藤沢子<sup>1)</sup>、中山佳子<sup>1)</sup>、岩谷 舞<sup>2)</sup>

1)信州大学医学部医学科 小児医学教室

2)信州大学医学部附属病院 臨床検査部

- S-2 サーベイランス後に腸重積を発症した Peutz-Jeghers 症候群の 2 例  
○服部透也、吉田正司、原 朋子、南部隆介、岩間 達  
埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科
- S-3 小児消化管ポリポースの最適な消化管サーベイランスを求めて：  
小腸カプセル内視鏡検査とバルーン内視鏡検査の比較  
○岡田優子<sup>1)</sup>、横山孝二<sup>1)</sup>、矢野智則<sup>2)</sup>、熊谷秀規<sup>1)</sup>  
1)自治医科大学 小児科学  
2)自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門
- S-4 乳幼児期の非典型的消化管病変を契機に診断した Cowden 症候群の男児例  
○竹内一郎、大植啓史、谷岡 篤、小森園梨奈、清水泰岳、新井勝大  
国立成育医療研究センター 消化器科/小児炎症性腸疾患センター
- S-5 十二指腸巨大隆起性病変を有する Peutz-Jeghers 症候群の一例  
○梅野淳嗣<sup>1)</sup>、長末智寛<sup>1)</sup>、重森亮宏<sup>1)</sup>、鶴丸大介<sup>2)</sup>、鳥巢剛弘<sup>1)</sup>  
1)九州大学大学院 病態機能内科学  
2)九州大学大学院 臨床放射線科学分野
- S-6 家族性大腸腺腫症(FAP)に合併した乳頭部腫瘍に対する内視鏡的乳頭切除術(EP)の治療成績  
○室田文子、山川 司、横山佳浩、川上裕次郎、榎木喜晴、吉井新二、山野泰穂、  
仲瀬裕志  
札幌医科大学 消化器内科学講座
- S-7 30 歳代で進行空腸癌と診断された家族性大腸腺腫症の 1 例  
○田丸智子、坂本博次、小林卓真、大和田潤、井野裕治、矢野智則  
自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門
- S-8 進行大腸癌のがん遺伝子パネル検査では指摘されない APC 遺伝子全欠失を伴う  
家族性大腸腺腫症  
○田邊裕貴<sup>1)、2)、3)</sup>、水上裕輔<sup>2)、3)</sup>、蒔田芳男<sup>1)</sup>  
1)旭川医科大学病院 遺伝子診療カウンセリング室  
2)旭川医科大学病院 がん遺伝子診療部  
3)旭川医科大学 消化器内科

S-9 早期胃癌の遺残に対して Underwater EMR を行った家族性大腸腺腫症の一例

○佃 頌敏<sup>1)</sup>、大久保佑樹<sup>1)</sup>、谷 泰弘<sup>1)</sup>、七條智聖<sup>1)</sup>、竹内洋司<sup>2)</sup>、道田知樹<sup>1)</sup>

1)大阪国際がんセンター 消化管内科

2)群馬大学医学部附属病院 光学医療診療部

15:22～15:30 閉会の挨拶

当番世話人 角田文彦(宮城県立こども病院 消化器科)